

平成 24 年 8 月 3 日

報道各位

九州旅客鉄道株式会社

地下鉄空港線唐人町駅で発生した車両故障への対策の実施について

平成 24 年 7 月 29 日に、地下鉄空港線唐人町駅において発生した 103 系電車（弊社唐津鉄道事業部所属）車両故障の原因が判明いたしましたので、以下のとおり対策を行いました。

ご利用のお客さまにご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

1. 原因について

故障原因については、主制御器^{※1}内のタイマーリレー^{※2}が不具合によって、温度上昇の影響を受けて誤動作し減流抵抗器^{※3}に過大電流が流れて焦損したことが判明致しました。なお、タイマーリレーの不具合については、今後も継続して原因究明を行ってまいります。

※1:主制御器 …電車のモーター電流を制御する装置です。

※2:タイマーリレー…電車のモーター電流を安全に遮断するタイミングを調整する機器です。

※3:減流抵抗器 …電車の加速を止める時にモーターのスイッチを切る必要がありますが、大電流をいきなり切ることは出来ないため、電流を小さくするための装置です。

2. 実施した対策について

- (1) 103系電車のタイマーリレー搭載車両（18両）について、一斉に新品と取替えました。
- (2) 103系電車の減流抵抗器搭載車両（18両）について、絶縁測定等の一斉点検を実施し異常のないことを確認しました。

【概況】・・・(福岡市交通局プレス参照)

平成 24 年 7 月 29 日午前 11 時 02 分頃、地下鉄空港線唐人町駅において西唐津（9：50）発福岡空港（11：17 着）行き列車（JR 車両・6 両編成）の車両（4 号車）の床下から火花と煙が出ているとのお客様からの通報があり、駅務員が確認を行ったところ、火花・煙は確認できませんでしたが、焦げ臭いにおいがしたことから、車内のお客様は唐人町駅にて降車していただきました。当該列車について点検を行ったところ、4 号車の床下機器が故障していたことから、安全確認を行った上で中洲川端駅まで回送しました。

お問い合わせ
広報室
092 (474) 2541

